

【 多摩クマタカ生態調査チーム 調査報告 】

## 東京都内でのクマタカの生息状況（2018）

山口 孝

### 『 クマタカは都内に 27 つがい以上生息 』

筆者ら多摩クマタカ生態調査チームでは、2006年から東京都西部の山地帯において、クマタカの生息分布を把握するための現地調査を実施してきた。2009年から2011年にかけての調査では、都内で少なくとも22つがいが生息すると推定した（山口・御手洗 2013）。今回、既知の営巣地での調査に加え、これまで未調査のままであったエリアで生息状況を調査した。その結果、都内には現時点で少なくとも27つがいのクマタカが生息していると推定することができた。

#### 調査方法

これまでの都内の調査で、クマタカの営巣地は標高500m以上の稜線が連なる山地の谷部に発見されていた。そうした都内の山地の約400km<sup>2</sup>を調査範囲として、2016年1月から2018年3月にかけてクマタカの営巣地の探索を行った。調査は現地での定点観察により行い、山口・御手洗（2013）と同様、繁殖期の初期に行われる繁殖行動や巣立ち間もない幼鳥の行動の観察などを基に営巣地の判定を行った。

#### 調査結果

これまで未調査だったエリアで新たに6つがいの営巣地を発見した。既知の22つがいのうち1つがいは2011年に消失したと考えられ（山口・御手洗 2013）、その後もつがいの復活が確認されていないので、現在の推定つがい数は27となる。市町

村別では、奥多摩町、檜原村、あきる野市、八王子市・青梅市の順に営巣地が多かった。調査範囲内に未だ十分に調査されていないエリアも残っており、未発見のつがいの存在を考慮すると、都内には30つがい前後が生息している可能性もある。

当チームでは、今後も都内でのクマタカの生息・繁殖状況の調査を行う予定である。最新の調査結果については、随時ホームページで公表する。

#### 引用文献

山口孝・御手洗望. 2013. 東京都に生息するクマタカについて. *Strix* 29: 95-103.

東京都内でのクマタカの生息状況（2018）

2018年3月31日発行

編集・発行 多摩クマタカ生態調査チーム

（東京都青梅市）

<http://www.somanoho.com/mhe/>

発行責任者 山口 孝

E-mail: tyama@ga2.so-net.ne.jp